



FUKUSHI

福祉

ASAKUCHI

あさくち

2012年8月

第23号

 社協だより

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- ☐ 本所 浅口市鵜方町鵜方73 TEL 0865-44-7744
- ☐ 金光支所 浅口市金光町古見新田751 TEL 0865-42-7308
- ☐ 寄島支所 浅口市寄島町16010 TEL 0865-54-3317
- ☐ カニ丸の家 浅口市寄島町16089-17 TEL 0865-54-3113

www.fukushihokayama.or.jp/Asakuchi/

講座のお知らせ

はじめての
NPO講座

NPO法人（特定非営利活動法人）は、市民参加の新しい形として1998年に法制化され、多方面で柔軟かつ先駆的な活動をしているところです。浅口市内にはNPO法人を取得している団体は、多くはありませんが、今後は、行政・企業との協働の視点からも活動が期待されています。

- ◆ NPOの必要性
- ◆ 法人化のメリット
- ◆ 法人化の手続き
- ◆ NPOと行政・企業との協働
- ◆ 県内の活動事例

日 時…8月31日(金)
10時～11時30分

場 所…社協本所2階

講 師…ゆうあいセンター職員

申込締切…8月24日(金)

電 話…0865447744

浅口市社会福祉協議会まで

ボランティア地域デビュー講座

「ボランティアしてみたいな——」と思っている方を対象にして、きつかけ作りの講座を用意しました。座学、ボランティア体験、ワークショップなど多彩な講座内容を用意して、あなたのボランティアとしての社会参加デビューのバックアップをします。特に団塊の世代の方にお勧めの講座です。

- ◆ 1回目 9月20日(木) 13時30分～15時30分
- 講演 「ボランティアで広がるあなたの世界へ楽しさ100倍、元気100倍」
講師：栗木 剛氏（moto ひょうご事務局長）

- ◆ 2回目 10月上旬
- ボランティア体験

高齢者施設・障がい者施設・子育て支援・環境美化活動・絵てがみの5つの活動先から選んで体験をしてもらいます。

- ◆ 3回目 10月31日(水) 13時30分～15時30分
- ワークショップ

コーディネーター…県社協 西原氏（調整中）

- ・講演や体験を振り返っての意見交換や提案など
- ・講座終了後、希望者にはグループ加入の斡旋。

または、新たなグループの設立につなげる。

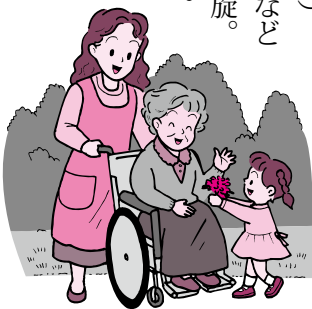
場 所…浅口市健康福祉センター2階研修室

定 員…30名（毎回出席できる方）

申込締切…8月31日(金)

電 話…0865447744

浅口市社会福祉協議会まで



もくじ

CONTENTS



仲間を広げ、 元気にボランティア 進む少子高齢化 いのちのバトン 2577人におしらせ ボランティア功労表彰 表彰 災害ボランティア 入門講座終えて 報告 理事・監事・評議員 選任される 人事	講演録 データ	04 06 07 08 10 13
--	------------	----------------------------------

浅口市ボランティア連絡協議会 発足!!



ボランティア連携で福祉を盛り上げよう

浅口市の29のボランティア団体が加入して、浅口市ボランティア連絡協議会が発足しました。6月26日に設立総会が行われ、市内のボランティア団体が連携を図り、浅口市の福祉を高めることが確認されました。

本年2月、東日本大震災のチャリティーバザーを市内のボランティアが呼び掛けて行ったことを契機にして、地域のボランティア連絡協議会の組織化がすすめられたものです。今後は、浅口市社会福祉協議会との連携をとりながら、研修活動や各種情報提供が行われます。

◆加盟ボランティア団体

団 体 名		会 員 数
六条院地区ボランティア「コスモス」		47
陶芸ボランティア		8
人形劇ボランティア「風の子」		36
鴨方西地区ボランティア「桃の花」		19
ほほえみ授産センターボランティア		5
鴨方東地区ボランティア「たんぼぼ」		18
収集ボランティア「ベル」		10
サンパレス桃花ボランティア		19
食事ボランティア「えぶろん」		99
オペラハウスボランティア「虹の会」		44
鴨方はるか会		28
浅口手話サークル「青い鳥」		27
要約筆記サークル「penpen草」		15
点字サークル「点とうむし」		5
お話しボランティア「にじの会」		17
託児ボランティア「プーさんクラブ」		18
鴨つ子童謡クラブ		29
福祉絵がみ「鴨めーる」		28
希望の家ボランティア「ホープ」		5
傾聴ボランティア「エコーダンボの会」		9
ボランティア　しゃぼん玉		15
絵がみボランティア「ゆめの会」		5
給食ボランティア「菜の花」		30
そば打ちボランティア		16
ベルフレンズ　ら・ら・ら		10
介護ボランティア「たんぼぼの会」		34
給食ボランティア「ガザミの会」		138
みつやまクリーンクラブ		33
子育てボランティア　なかよしひろば		17



「やる気・世直し・手弁当」——ボランティア活動を表す三要素として言われてきた言葉だ。つまり自主性、公益性、非営利性である。近年では「先駆性」などを加える場合もある。ボランティアは、社会を豊かでいきいきとさせる潤滑油として不可欠な存在となっている。

表紙の写真は、ボランティアの「ふれあいお弁当」を作っているところである。味付けやら盛り付けやら、にぎやかで笑声が絶えない。ボランティア活動は、自身が楽しむことが何よりであることを実感した。

とびろ

記念講演

仲間を広げ、元気にボランティア

浅口市ボランティア連絡協議会設立を記念して、大阪ボランティア協会の早瀬昇さんによる講演会が行われました。関西弁でユーモアを交えながらボランティア活動のポイントや仲間づくりについてお話しがありました。



「公平でない」ボランティア

ボランティアは役所と同じように公平でないといけない、と思われるでしょう。しかし、活動するには「これができる」「これがしたい」とそれぞれテーマがある。テーマを選ぶということは全部できないから公平にならない。だからいい。そこに温かさがある。「ほかならぬ」あなたのためにできるのがボランティアの特徴である。

浅口市にもいろいろな福祉施設があり、その施設を全部回って活動してもいいが、「ほかならぬあそここの施設長さんの運営がすごいから」「ほかならぬこの施設の環境がいいか

ら」という理由で活動する方が、施設の人は嬉しい。公平じゃない方が喜ばれるということ。

当事者を増やすこと

いろいろな生活の課題を抱えておられる方々を当事者という。ボランティア活動とは活動を通して当事者になる人を増やすということ。

活動をする中で、相手の大変さが自分の問題になることがよくある。活動先の施設にいる子どもと関わる中でその子の将来が気になる。災害の被災地にボランティアに行き、帰ってきてても新聞やテレビでその町のことが出ると気になる。施設の外、

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事 早瀬 昇 氏

■プロフィール

1955年、大阪府生まれ。京都工芸繊維大学・工学学部電子工学科卒業後、フランス・ベルギーの社会福祉施設（L'ARCHE）で研修を受け、1978年、大阪ボランティア協会に就職。その後、大阪府立大阪社会事業短期大学専攻科修了。現在、大阪ボランティア協会常務理事。日本NPOセンター副代表理事、日本ボランティアコーディネーター協会副代表理事、関西大学経済学部客員教授。熱烈な阪神タイガースのファンでもある。





敬老会、まず集合写真を撮っておきましょう 敬老会写真焼き増しサービス



敬老会は、多年にわたり社会に貢献してきた高齢者の長寿を地域ぐるみで祝う集いです。社会福祉協議会では敬老会の集合写真等の焼き増しを助成することにより、地域でのたすけあいの精神を盛り上げるものです。

敬老会写真焼き増しサービスの詳しいことは、社会福祉協議会へおたずねください。

ご存知ですか？

福祉車両の貸し出し

車いすを利用される方が気軽に安心して外出できるよう、車いすに乗ったまま乗り降りできる福祉車両を貸し出しています。

- 申込手続** 3ヶ月前から申し込み受け付け、利用期間は4日間まで可能
- 利用目的** 福祉向上のための研修会等、旅行、ドライブ、買い物など
- 利用料** 無料(燃料等は自己負担、誓約書を求めます。免許証のコピーをいただきます。)

「疲労と不信の悪循環」

ボランティア活動は自由にできる。しかし、自発的な活動ゆえに「これまですればよい」という基準がない。活動に熱心な人、責任感・問題意識

町の外ににいるのにそのことが気になる。こうなるとすでに当事者になっている。ボランティアは当事者になる人を広げることになる。これがものすごく重要なことである。

の強い人ほど頑張ってしまう。

頑張ろうと無理が重なれば、当然疲れてしまう。そこで、休むと「ボランティアはあてにならない」と言われるから、さらに頑張ろうと無理をする。それでまた疲れ、休もうとすると不信が生じる。

この繰り返しを「疲労と不信の悪循環」といい、頑張ろうとする人ほど自らを追い込んでしまい、疲れ果て、活動が続かなくなってしまう。

これには「あきらめる」のが一つの方法。ボランティアは自由だから

仲間をつくる秘訣とは

こそ、「こうでないといけない」ではなく「これでもいい」と思い、「とりあえず」でごまかせば良い。

頑張っている人を孤立させないためにも仲間づくりが大切。お互い支え合うという関係が重要である。

仲間づくりの一番のポイントはお互いの弱みを出せること。「何でもできます」という人にはスキがない

から入り込めない。自分にはこういう弱みがあるからこそ「助けて」と言える。「助けて」と言えるだけで助け合いになる。「助けてあげよう」では始まらない。弱みを出すということが仲間づくりのヒントになる。

ボランティアは元気の源。実際、家族や仕事以外に地域で何か好きなことがある人の方が元気だ。「疲労と不信の悪循環」に陥らないためにも、「仲間をうまく作る」そして「助けられること」を出せることが大事である。



～すすむ少子高齢化～

地域のたすけあいでの福祉の充実を

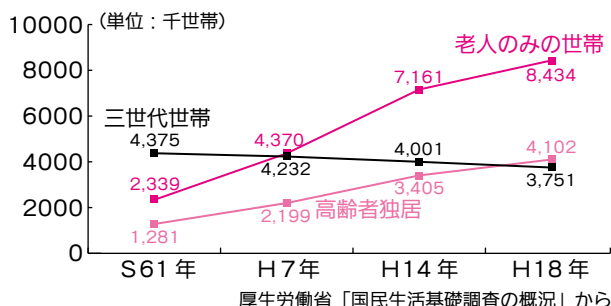
浅口市高齢化率

30.8%

(平成24年5月31日現在)

金光 … 30.9%
鴨方 … 29.7%
寄島 … 34.2%

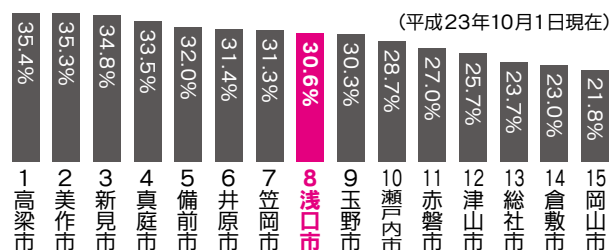
日本の世帯構成



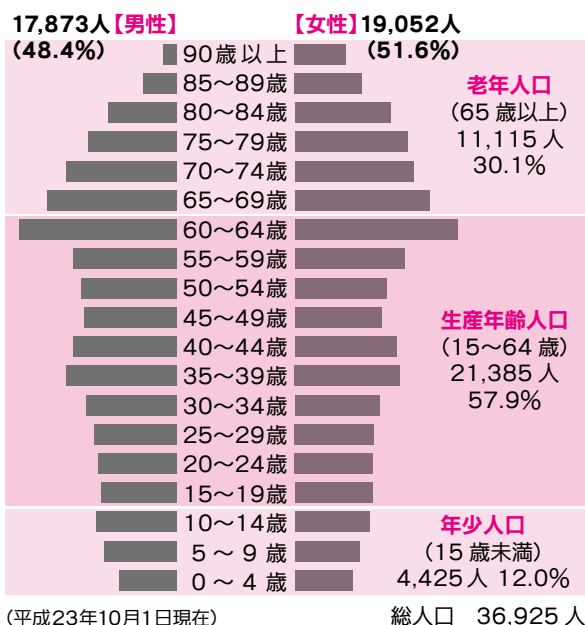
浅口市介護保険の状況

介護保険認定者 **1,898人** 認定率 **16.8%**
介護保険第1号被保険者 **11,315人**
(浅口市総人口 36,654人)

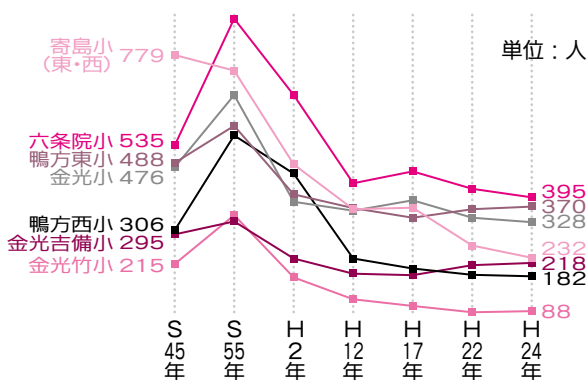
県内各市の高齢化率



浅口市の人口構成



市内小学校児童数



それゆけ! ボランティア

金光手打ちそばボランティアの巻

そば好き仲間が集まってで[き]たボランティアです。市内の福祉施設、各地区で開催されているサロンや老人クラブ等での、そばの試食やそば打ち体験の指導など、私たちは何処へでも出張します。そば打ちの技術、おいしい食べ方を広げています。手打ちそばを一度味わってみませんか? 出前のご依頼をお待ちしています。



「いのちのボタン」マグネットステッカー
& シール

マグネットステッカーはいのちのボタンを入れた冷蔵庫の表に貼ります。シールは玄関内の目につくところへ貼ります。シールやステッカーを貼ることで救急隊員にこの家に「いのちのボタン」が置いてあることを知らせます。

●いのちのボタンの対象者●
・65歳以上の独り暮らし高齢者
・75歳以上の高齢者世帯
・障がい者
・その他設置を希望する方

いのちのボタンは高齢者や体の不自由な人の緊急時の医療情報を保管して置くものです。かかりつけの病院や持病などの医療情報や薬剤情報、緊急連絡先などを記入したカードをオレンジ色のフタの容器（ボタン）に入れて冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時に救急隊員による迅速で適切な処置が可能になります。

いのちのボタン
記入事項は正確ですか？

お名前・住所・性別・血液型・生年月日など

娘さんや息子さんなど緊急時に連絡して欲しい人の氏名・住所・電話番号・続き柄を記入します(2人まで)

その他、特にお願いしたい事項・書いておかなければいけない事項などあれば！

裏面

前面

かかりつけの病院・連絡先を記入します。(2つまで) 今までのかかった病気・現在療養中の病気なども。普段使っている薬など。薬の名前がわからない場合は処方箋のコピーや実際いつも飲んでいる薬を入れてもOK。

カードを作成した日付を記入します。変更事項があれば随時更新します。定期更新は約1年。

◆いのちのボタンを設置したい方は、お住まいの担当の民生委員さん又は、福祉委員さんにお尋ねください。◆

老人
クラブが
訪ねる

浅口探訪⑬ 「不動の滝」



寄島の安倉から鴨方の四条原へ向かう途中、八幡神社を上ったあたりの旧道を入ると不動の滝がある。寄島町唯一の滝で、竜王山系の侵食谷の溪流にかかる直下30mの飛瀑だ。一説によると岡山県で最も海に近い滝だそううだ。ただ、上流に砂防ダムがつくられたため、水量が少なく、まとまった雨の翌日が見ごろとなる。

滝のそばには鳴滝不動明王が祀られている。不動明王を筆頭に千手観音像・菩薩像が祀られた庵が点在している。六条院西の円珠院の末寺で、13年ごとに「御開帳」の祭礼がおこなわれている。昭和初期頃までは、旧暦一月十六日に会陽（はだか祭）も行われ、白禪の男は宝木を争い、露店も出て大変賑わっていたそうだ。

平成24年度



ボランティア功労者表彰

寄島町 6人



江原 欣也さん
(寄島町 給食ボランティア『ガザミの会』)
給食サービス『ガザミの会』の発足以来、13年間会長として会の運営に尽力してこられました。会長退任後の現在も継続して宅配ボランティアとして地域福祉に取り組む姿勢は他の模範となっています。



三宅 純子さん
(寄島町 給食ボランティア『ガザミの会』)
『ガザミの会』の発



長谷井 学さん
(寄島町 みつやまクリーンクラブ)
『みつやまクリーンクラブ』の発足以

来、長年に渡り積極的に綺麗な砂浜を取り戻そうと清掃活動に参加してこ



笠原 輝子さん
(寄島町 子育てボランティア『なかよしひろば』)
『なかよしひろば』

東地区の代表として活躍され、子ども達に対しては経験を生かして優しく接し、見守る眼差しはとても温かく、地域の子育て支援に多大な貢献をしてこられました。



中浜 文子さん
(寄島町 子育てボランティア『なかよしひろば』)
『なかよしひろば』

西地区の代表として、又主任児童委員の立場からも親子揃っての支援に取り組む姿はメンバーの鑑であり、お母さん方の悩み相談も大変喜ばれています。



貞利 陽子さん
(寄島町 介助ボランティア『たんぼの会』)
市内の小、中、高校

への出前福祉活動へ積極的に参加され、福祉施設での行事やイベントにも

鴨方町 11人



加山 芳枝さん
(鴨方町 地域ボランティア『桃の花』)
活動を始めて10年間、サロンの役員を

兼ねながら、熱心に地域の方々との交流に取組み、優しく細やかな気配りでサロンの活動支援や友愛訪問など地域の高齢者福祉に熱心に取組んでこられました。



古川 澄子さん
(鴨方町 地域ボランティア『コスモス』)
『コスモス』設立時

の会長として、会の運営や会員の育成に多大な尽力をしてこられました。サロンの活動や高齢者福祉に積極的に取り組まれる姿は会員達の模範となっています。

率先してお手伝いをされています。優しい笑顔で地域福祉推進に貢献されています。



堀 正子さん
(鴨方町 地域ボランティア 『コスモス』)

長年に渡り『コスモス』に参加し、現在は地区役員として、サロン活動、友愛訪問など地域福祉へ積極的に取り組まれています。後進の育成にも熱心で、前向きな姿勢は会員の手本となっています。



岡田三恵子さん
(鴨方町 託児ボランティア 『プーさんクラブ』)

市の年間事業である“ももつ子教室・離乳食教室”等、託児ボランティアの主力メンバーとして、長年地域の子育て支援に積極的に参加されています。持ち前の明るさと探究心で子供達とは仲良しです。



柚木富喜子さん
(鴨方町 サンパレス 桃花ボランティア)

高齢者福祉への関心が深く、施設内での活動を始めて10年、シーツ交換は丁寧に手際よく、入所者の方々とのお話にも笑顔でお話される様子に周りの皆さんの心も和み、会員のお手本となっています。



村上ふさえさん
(鴨方町 福祉絵てがみ 『鴨めーる』)

「鴨めーる」の発足以来10余年に渡り、食事サービス「えぶろん」のお弁当への掛け紙製作、施設入所の方への激励葉書製作等の活動を続けておられます。何事にも積極的に取り組む姿は会員の模範です。



貝畑 靖子さん
(鴨方町 食事ボランティア 『えぶろん』の発足)

時より積極的に高齢者福祉に取り組んでこられました。調理を担当し、発足当初には副会長、また現在は会計として熱心に会の運営がスムーズに運べるよううに尽力されています。



佐藤 洋子さん
(鴨方町 食事ボランティア 『えぶろん』の監事を務められ、長年に渡り配食ボランティアとして活動をされています。利用者さんへの優しい笑顔と声掛けはとても喜ばれ、地域の高齢者の方々の見守りにも繋がっています。



小谷 賢久さん
(鴨方町 オペラハウスボランティア 『虹の会』)

オペラハウスにおけるシーツ交換、イベントの手伝い等地域の福祉活動に熱心に取組まれています。活動当初は会計として、現在は会長としての会の運営から、後進の育成に熱心に取組まれています。



横山 栄男さん
(鴨方町 オペラハウスボランティア 『虹の会』)

長年にわたり、オペラハウスでシーツ交換や草刈り等の活動に率先して参加してこられました。会計を担当し会の運営に関しては事務的な役割をすべて担って精力的に活動をされています。



杉本 忠志さん
(鴨方町 オペラハウスボランティア 『虹の会』)

温厚な人柄は会員からの信頼も厚く、熱心に取組む姿勢は会員の手本となり、活動当初より会員の相談役として会の運営が円滑に進むように活躍されています。



中務寿美恵さん
(金光町 ボランティア 『しゃぼん玉』)

会の発足当初から活動を始め、現在は、会計としての会の運営に尽力をされています。しゃぼん玉恒例の「ふれあい喫茶」や「たんぽぽまつり」にも熱心に参加し、ボランティア活動の深化に大きく貢献されています。



久戸瀬久恵さん
(金光町 絵てがみボランティア 『ゆめの会』)

会の立ち上げから活動を始め、会長を歴任し会の取りまとめに尽力されました。施設入所者への激励葉書や配食サービスの掛け紙製作等に取組まれ、又後進の指導にも熱心で地域福祉に大きく貢献されています。

金光町

2人



報告 災害ボランティア入門講座を終えて



人を支えるのは“人” 災害時も平生も

浅口市社協では6月19日と7月5日の2回コースで災害ボランティア入門講座を開催しました。東日本大震災の影響で関心が高く、延べ114人が受講しました。日野ボランティアネットワーク（鳥取県）の森本智喜さんの講演を要約します。

災害ボランティアは「作業」じゃない

東日本大震災では全国各地でボランティアが行われた。全社協が把握した東北3県で活動したボランティアは約97万人。本当に多いことだと思う。

災害ボランティアセンターは、「助けて」と「助けるよ」の両者を結びつける「マッチング」をする機関として、各地の社会福祉協議会に設置された。ニーズに基づき、全国から来てくれたボランティアを手配する。被災者からのニーズとして、側溝の泥出しや田んぼのがれき撤去が寄せられる。するとボランティアからは、物足りなさが聞こえてくる。しかし溝の泥だしや田んぼの片付けが被災者の真の要望であることが理解できたら、充実したボランティア活動となる。被災者が元の日常を取り戻すためのお手伝いであり、被災者に寄り添うことがもつとも大切である。「泥」を見るのではなく「人」を見なくてははいけない。

被災者の心情、ボランティアの心情

震災のあと「ボランティアします」のチラシを配っても、要望は出てこない。困っているには違いないのに SOS が声にならない。被災者は、家・財

産・仕事・思い出・そして肉親を失った人もいる。ただ茫然としている。恐怖・混乱・不安・絶望・諦め・苛立ち……様々な心境が入り混じっている。

一方、ボランティアは情熱に燃えて全国から集まっている。「何でもします。倒れるまで働きます」と前のめりの人もいる。ボランティアは、被災者個々の心情を察しながら活動しなくてはならない。さもないれば独りよがりになってしまう。ボランティアセンターが、ボランティアのためのセンターになってはいけない。あくまで「被災者支援センター」になってほしい。

平素の助け合いが災害時に生きる

私たちはともすれば大規模災害に目を奪われがちだ。被害が大きく、マスコミが大きく扱う災害は、困っている人も多い。しかし小さなことにも目を向けたい。たとえば台風一過、独居高齢者宅の庭木が倒壊し、鉢植えも割れてしまった。独居高齢者は落胆し、何から手を付けていいか解らない状態。これも災害である。全国からのボランティアは必要ないが、近所の助け合いというボランティアの出番である。小さい困りごとを解決できる地域は、大きな災害があっても乗り越えられる。

災害に備えて…事前の「災害ボランティア登録」を開始します

- 登録実施機関……浅口市社会福祉協議会
- 登録の条件……満18歳以上である者（登録しようとする年度の4月1日現在）
※20歳未満の場合は、保護者の承諾が必要です。
- 登録の申込み……「災害ボランティア登録申込書」に必要事項を記入し、浅口市社会福祉協議会に提出してください。



熱心にグループで研修しています



青年期の思い出

玉島レーヨンに勤めていたが、終戦間際 20 ヶ月程は動員で水島の三菱工場で航空機の生産に携わった。幼少の頃、叔父を頼って韓国のプサンにいた。プサンの商業学校を卒業したが終戦で学校もなくなり帰国してから京都の龍谷大学で学んだ。8 人兄弟の一番上であり結婚当初は 12 人家族で大変だった。昭和 24 年親父の跡を継いで現在の衣料品店をはじめた。

平成 13 年に結婚 50 年の金婚式を向かえ山陽新聞に掲載され、今年で結婚 61 年目です。

趣味はなんですか？

趣味は幅ひろく、特に川柳が好きで、文化協会川柳部で 40 年間会員さんへ毎月川柳選集を配布している。また記念バッチ集めにも傾倒し、昭和 46 年から 58 年まで「町議」をしてたときに赤い羽根等のバッチを購入するようになり、現在までに 180 個以上になっている。

お元気の秘訣は？

健康の秘訣は、毎日のウォーキング。

朝は 9 時から近くの鴨神社まで歩いている。上り下りのコースも変えて楽しんでおり、戻てからは、今度は女房と二人で約 40 分ぐらい車の少ない道を歩くのが日課であり雨、風でも欠かさないのが自慢。おかげで体調は万全である。食事は、好き嫌いは多少あるもののほぼ何でも食べる。子供の頃兄弟が多かったから、文句を言っていると何もなくなってしまうのでそのお陰かな、アハハ。

これからの人生について願うのは

長生きしたいと思っている。目標としていた先輩たちが段々に亡くなり寂しい思いだが先輩たちの分まで長生きしたいと思っている。

夫婦お互いに元気で過ごせる毎日に感謝です。

手話で歌を歌いませんか！

11 月 18 日、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会主催の、【県民ふれあい手話まつり】が、浅口市で開かれます。そのステージで、手話で歌を歌う子どもたちを募集しています。

対象者 小学生

募集人員 30名

締 切 9月10日(月)

練習時間 9月23日(日) 10月28日(日) 11月11日(日) 11月17日(土) 午前10時～12時
於 健康福祉センター 於 サンパレア

練習場所 浅口市健康福祉センター 2 階 ボランティア研修室

曲 名 さんぽ、他

開 催 日 11月18日(日) 午前10時～午後 3 時半 (手話歌は10時半～11時)
於 浅口市ふれあい交流会館サンパレア (寄島町)

申 込 先 浅口市社会福祉協議会 担当：長尾 電話：0865-44-7744 FAX：0865-44-1113

※送迎については各保護者でお願いします。

担当：手話サークル青い鳥

平成23年度

事業・決算報告

法人運営

1. 理事会、評議員会の開催状況

理事会 3回 / 評議員会 3回 / 監事監査会 1回

2. 職員の研修会等への参加状況 延67回

3. 住民座談会の開催状況 7地区

4. 地区社協の設置状況 5地区

各種福祉事業

1. 高齢者福祉事業

- ・給食サービス 延5,625名に配食
- ・ふとん丸洗いサービス 延85名が利用
- ・ふれあいサロン 延13,954名参加
- ・いのちのバトン 2,012名に設置
- ・その他、福祉委員による見守り活動等実施

2. 子育て支援事業

- ・子育てサロン 延356名参加
- ・おもちゃ病院 延119名来院
- ・その他、要援護児、母子世帯等福祉事業を実施

3. 児童福祉事業

- ・夏のボランティア体験 約300名参加
- ・その他、学校での福祉講座等を実施

4. 障がい者福祉事業

- ・うたぷらざサロン 延55名参加
- ・その他、当事者及び保護者組織の活動支援

5. 介護サービス事業

- ・居宅介護支援 ケアプラン作成 1,441件
- ・訪問介護 ヘルパー訪問 11,100件
- ・通所介護 デイサービス利用 6,537名
- ・福祉用具貸与 在宅介護用具貸出 394件

6. 自立支援事業

- ・障がい者（児）訪問介護利用 552名

7. 福祉資金貸付事業 11件 255千円

8. 日常生活自立支援事業利用 4名

9. 車椅子対応車両貸出 66件

10. 東日本大震災復興支援事業

- ・職員派遣4名、ボランティア派遣9名 延45日活動
- ・義援金額 市民の方々、各種団体の協力を得て総額14,447千円。

11. その他

共同募金会、日本赤十字社、老人クラブ、遺族会、ボランティア連絡協議会、介護者の会、独居高齢者の会等の事務局として、各団体・機関の事業の推進を支援。

財産目録

平成24年3月31日

(単位：千円)

科 目	適 用	金 額
1. 流動資産		109,460
(1)現預金		84,388
現金		50
預金	普通預金	84,338
(2)未収金		25,072
(3)仮払金		0
2. 固定資産		892,316
(1)基本財産		5,500
基本財産	定期預金	5,500
(2)その他固定資産		886,816
建物		253
構築物		126
車両運搬具		9,879
器具及び備品		869
小口現金貸付金		30
退職共済預け金	職員退職金	54,003
貸付金	生活福祉資金	1,388
地域福祉振興基金積立金	定期預金	240,268
地域福祉活動基金積立金	定期預金	130,000
投資有価証券	国債	380,000
運営資金積立預金	定期預金	70,000
資 産 合 計		1,001,776
1. 流動負債		17,038
未払金		15,467
預り金		1,571
仮受金		0
2. 固定負債		53,188
退職給与引当金		53,188
負 債 合 計		70,226
差 引 純 資 産		931,549

一般会計収支報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日

収 入

(単位：千円)

会費収入	9,052
寄付金収入	5,349
補助金収入	49,804
助成金収入	11,241
受託金収入	1,536
事業収入（利用料、用具貸与）	14,294
貸付金償還金収入	458
共同募金配分金収入	6,413
負担金収入（シルバー負担金）	12,126
介護保険収入	118,262
居宅自立支援収入	2,122
雑収入	1,173
受取利息配当金収入	2,983
退職共済返還金収入	14,492
収 入 合 計	249,305

支 出

(単位：千円)

人件費支出	161,372
事務費支出	22,116
事業費支出	42,287
貸付事業等支出	1,846
補助金支出	945
退職共済預け金支出	15,274
その他固定資産取得支出等	4,864
支 出 合 計	248,704
当期資金支出差額合計	601

理事・監事・評議員 選任される

—— 山下会長再任、副会長 大室氏・田村氏 ——

浅口市社会福祉協議会の評議員会が5月25日に開催され、任期満了に伴う理事の選任が行われました。さらに6月1日には、理事会が行われ会長・副会長が互選されました。なお評議員は、3月28日の理事会で選任されました。理事・監事・評議員のみなさん、よろしくお願いいたします。

理 事

(敬称略)

会 長 山下 隆志(学識経験者)
副会長 大室 照明(学識経験者)
副会長 田村 論(行政代表)
理 事 桑野 和夫(議会代表)
理 事 伊澤 誠(議会代表)
理 事 襟立 憲道(行政代表)
理 事 西牧 隆(民生児童委員代表)
理 事 山田 直子(愛育委員会代表)
理 事 高山 晴彦(教育委員会代表)
理 事 田中美智子(女性団体代表)
理 事 田淵 純雄(商工会代表)
理 事 中西 由理(福祉施設代表)
理 事 笠原 和彦(地域自治会代表)
理 事 山内 悦子(ボランティア団体代表)
理 事 友田 愛子(栄養委員代表)

監 事

(敬称略)

監 事 浅野 章洋(学識経験者)
監 事 藤澤 秀明(民生児童委員)

評 議 員

(敬称略)

評議員 柚木 達雄(民生児童委員)
評議員 荒川 晃行(民生児童委員)
評議員 道広 恵子(民生児童委員)
評議員 山下 弘(民生児童委員)
評議員 藤野 裕子(民生児童委員)
評議員 塩田 陽子(民生児童委員)
評議員 江原 欣也(民生児童委員)
評議員 藤井美津恵(民生児童委員)
評議員 加賀和三郎(老人クラブ)
評議員 中嶋 嶺(老人クラブ)
評議員 渡辺 雅允(遺族会)
評議員 原田 康正(福祉団体)
評議員 山下威真一(福祉団体)
評議員 阿藤美穂子(福祉団体)
評議員 富山 治代(福祉団体)
評議員 石井登喜子(福祉団体)
評議員 小笠原澄子(福祉団体)
評議員 守屋 靖(コミュニティ)
評議員 横山 真二(人権擁護委員)
評議員 杉本 征郎(福祉施設)
評議員 荒川 伯夫(ボランティア)



評議員 久本 智則(ボランティア)
評議員 笠原 輝子(ボランティア)
評議員 垣内 誠治(福祉委員)
評議員 谷川 佳子(福祉委員)
評議員 石井 光子(福祉委員)
評議員 筒井 初子(福祉委員)
評議員 岡本 幸子(福祉委員)
評議員 中野 伯江(福祉委員)
評議員 三宅 章子(福祉委員)
評議員 笠原小夜子(福祉委員)



『理事』とは

理事は、理事の合議体である理事会において法人の経営方針を立て、事業計画や予算等の法人の重要な方針決定に参画します。

【執行機関】

『監事』とは

監事は、理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況について監査します。

【監査機関】

『評議員』とは

評議員は、社会福祉法人の公共性に鑑み、広く関係者の意見を聴くことによって、事業のチェックを図るため評議員会を構成します。

【議決機関】

理事15名、監事3名

(5月25日開催の評議員会で選任)
任期は平成24年6月1日から
平成26年5月31日迄。

評議員31名

(3月28日開催の理事会で選任)
任期は平成24年5月1日から
平成26年4月30日迄。

皆様のご協力をお願いします

	社協会費  社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会	共同募金  赤い羽根共同募金
①趣 旨	浅口市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現を目指して様々な福祉活動を行っております。社協会費は□うした地域福祉活動を推進するための貴重な財源となっています。	私たちのまちの身近な福祉活動や災害時の被災者・被災地支援のための募金運動。民間の社会福祉を支援するための募金として「社会福祉法」に位置付けられ全国一斉に展開されています。
②使 途	・ふれあいいきいきサロン ・独居高齢者への支援（給食サービス、ふとん丸洗い等） ・地区社協活動助成等	・福祉映画祭 ・母子父子クリスマス会、おたのしみ会 ・障がい者支援施設交流イベント等
③募金期間	10月1日～12月31日	10月1日～12月31日
④納入方法	◎原則として、各町内会長（自治組合長・地区長等）を通じてお願いしています。	
⑤金 額	個人会員 一□ 1,000 円 法人会費 一□ 3,000 円以上	目標額 一世帯あたり 500 円
⑥そ の 他	全戸加入を目標としていますが、強制的なものではありません。あくまでも自主的な会員制度です。	法人募金、職域や学校、街頭などでも募金運動を行います



福祉あさくち

クイズの答えとともに「福祉あさくち」の感想をお寄せください

色々な面で支え合い人となりの絆が生まれつつある事はよろこばしく、長寿社会に安心感を与えます。

寄島町 道広さん

福祉委員をさせて頂くことになりました。微力ながら地域福祉のお手伝いをしたいと思っています。ボランティア活動として、歌好きな友志11人で「のぎくの会」を結成、3年目です。

鴨方町 横山さん

クイズ 探して並べて

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が8か所あります。この8文字をならべかえて、言葉をつくってください。

◆ヒント 白球を追いかけます。

◆締め切り 9月30日(日) 消印有効

◆前回のこたえ はちじゅうはちや(八十八夜)でした。

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、〒719-0243 鴨方町鴨方73番地 浅口市社会福祉協議会まで。正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。

天満屋 浅口のパソコン教室

中高年・超初心者の方にとってもわかりやすいパソコン教室です!!

今年パソコンで年賀状を作ってみませんか

この広告見た方だけの.....

特典 入会金が無料!!
通常 ¥10,000 → ¥0 (8/31まで)

無料体験実施中! PCらいふパソコンスクール 浅口校 (0865)44-3131

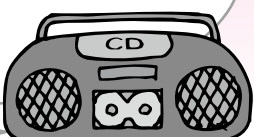
お申込みコース

60歳以上の方限定	シニアコース	1ヶ月6回 8,400円
30・40・50代の方限定	スキルアップコース	1ヶ月6回 9,800円

他にも通常コースもあります

「声の広報」を聞いてみませんか?

音訳グループ(鴨方はるか会)では、目の見えにくい方、文字の読みづらくなられた方に市の広報誌などをカセットテープにしてお届けしています。



テープを聴いてみたいとお思の方は、浅口市社会福祉協議会までご連絡ください。

篤志御礼

(平成24年6月30日まで)
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町

- 遠山 道子さん(大谷) より
亡夫 文雄さんの香典返し
- 林 潤一さん(占見新田) より
亡父 信太郎さんの香典返し
- 白神 建一さん(占見新田) より
亡父 昭光さんの香典返し
- 高畑 文奈さん(上竹) より
亡夫 佳典さんの香典返し
- 片岡 政治さん(大谷) より
亡父 武夫さんの偲び草
- 安田 憲二さん(地頭下) より
亡子 詳行さんの香典返し
- 山本美代子さん(占見) より
亡夫 奨さんの香典返し
- 坂口 浩二さん(下竹) より
亡母 通子さんの香典返し
- 井上 信治さん(大谷) より
亡父 正道さんの偲び草
- 鍋谷 照彦さん(占見新田) より
亡祖母 幸さんの香典返し
- 原田 士朗さん(大谷) より
亡母 叔子さんの香典返し
- 櫛田千代野さん(須恵) より
一般寄付(百寿記念)として

鴨方町

- 田口 靖展さん(鴨方) より
亡祖父 桂治さんの香典返し
- 小林 敏郎さん(みどりヶ丘) より
亡妻 富子さんの香典返し
- 遠藤 典子さん(六条院中) より
亡夫 勝さんの香典返し
- 小野 繁さん(小坂西) より
亡母 茂登さんの香典返し
- 坂本 隆さん(六条院西) より
亡父 豊三郎さんの香典返し
- 柚木 隆志さん(六条院中) より
亡母 秀子さんの香典返し
- 宮田 眞守さん(鴨方) より
亡母 道子さんの香典返し
- 松原 紘一さん(小坂東) より
亡母 泰子さんの香典返し
- 田邊 博明さん(益坂) より
亡父 寅男さんの香典返し
- 虫上 行治さん(小坂西) より
亡母 増子さんの満中陰志
- 山田千恵子さん(鴨方) より
亡母 夏子さんの香典返し
- 樋口 朋枝さん(本庄) より
亡夫 昇さんの香典返し
- 池田美保子さん(六条院中) より
亡夫 研一さんの満中陰志
- 花田 潔彦さん(六条院中) より
亡祖母 ツマエさんの香典返し
- 阿藤 哲也さん(六条院中) より
亡父 善一さんの香典返し
- 柚木 武久さん(鴨方) より
亡母 雅子さんの香典返し
- 安田 哲夫さん(益坂) より
亡父 隆司さんの香典返し
- 平井 謙治さん(深田) より
亡父 逸雄さんの香典返し

— 浅口市戦没者追悼式のお知らせ —

浅口市戦没者追悼式を執り行います。今日の平和の礎となられた浅口市戦没者千三百三十七柱のご英霊に、市民の皆様と追悼の誠を捧げたいと思います。多くの皆様のご参列をお願いします。

日時/9月29日(土) 10時~11時

場所/浅口市中央公民館(鴨方)

主催/浅口市及び浅口市社会福祉協議会



- 山下キヨ子さん(六条院中) より
亡夫 和郎さんの香典返し
- 横山 光一さん(小坂西) より
亡父 友晴さんの香典返し
- 浅口市文化連盟より
第5回総合文化祭チャリティ売上金の一部
- 岡山県年金受給者協会浅口中央分会より
篤志寄付として
- 阿知谷町内会より
手数料寄付として
- 向月お楽しみサロンにこにこ会より
サロン10周年記念
- 田中美保子さんより
篤志寄付として

寄島町

- 田中 信子さん(中安倉) より
亡夫 米良さんの香典返し
- 坂本 眞一さん(尾焼) より
亡父 市松さんの香典返し
- 亀岡 徳寿さん(西安倉) より
亡母 貞女さんの香典返し
- 應本 崇明さん(東安倉) より
亡父 宅夫さんの満中陰志
- 黒川 卓也さん(中安倉) より
亡父 興光さんの満中陰志
- 大室 久子さん(片本) より
亡夫 一さんの香典返し

ボランティア標語を募集します

最優秀賞・優秀賞の入賞6点には賞品

ボランティアがしたくなるような、楽しい標語をお待ちしています。

ハガキが
応募用紙に

◎標語(3点まで可)

◎氏名・年齢・住所・電話番号・学校名

締切 / 8月28日(火) 厳守

応募
方法

郵送: 〒719-0243 浅口市鴨方町鴨方73

FAX: 0865-44-1113 メール: fukuasa@mx1.kcv.ne.jp

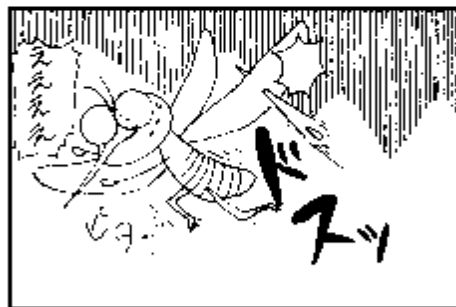
主催: 浅口市社会福祉協議会 TEL 0865-44-7744

福あさ

提供: 鴨方高校まんが愛好会
画: 汀

4コマ劇場

「蚊」



ワールド・ファーストエイド・デー 世界救急法の日

参加費 無料

つなげよう 救命の連鎖
広げよう 地域の輪

日時 平成24年9月8日(土) 9時~11時

場所 金光公民館

内容 AEDと蘇生法、骨折と搬送、
子どものけがと止血、パネル展示

※どなたでも参加できます。お気軽においで下さい。



体験者には、
ケース入り呼吸
吹き込み用具を
プレゼント!!

※数に限りがあります。

主催: 日本赤十字社岡山県支部

TEL 086-225-3621 FAX 086-221-1967

熱中症にご用心

ふれあいお弁当いかがですか?

独居高齢者、高齢者世帯の安否確認をかねて、ボランティアにより季節感のある食材で手作りお弁当をご自宅まで届けます。

対象者: 70歳以上の独居

75歳以上の高齢者世帯

料金: 1食 300円

回数等: 金光...月1回第2木曜日の夕食として

鴨方...月2回第1・3水曜日の昼食として

寄島...月2回実施日は地区による(夏季は休み)



第3日曜日は

おもちゃ病院

日 時	場 所
24年 8月19日(日) 9時~12時	金 光 公 民 館
24年 9月16日(日) 9時~12時	寄 島 公 民 館
24年10月21日(日) 9時~12時	浅口中央公民館